

洛窓会 東京支部活動状況

令和5年度 東京支部代表幹事 日本製鉄株式会社 坂本 明洋(57 回卒)

令和5年度 東京支部総会報告

1. 開催概況

日時:2023年7月11日(月)16:00~20:00
場所:学士会館(対面)+Zoom(オンライン)ハイブリッド
出席者数:総会 66名(対面 43名+オンライン 23名)、
懇親会 46名(対面のみ)



学士会館の外観

2. (第一部) 総会



総会の様子

2-0. 黙祷

令和5年3月31日にご病気のため急逝された田門肇名誉教授(洛窓会会長)に対し、全員で1分間の黙祷を捧げた。

2-1. 洛窓会東京支部長挨拶

住友化学(株) 取締役副社長 上田 博 様

アフターコロナにて多くの対面参加者をいただけたことに対して謝辞を述べられた。また京大化学工学卒業生の横のつながりを大切にして活躍することへの期待を述べられた。



2-2. 会計報告

日本製鉄(株) 東日本製鉄所 課長 坂本 明洋
解散した洛有会(関東在住の洛窓会員の退職OBの有志の会)から残金 84,000 円の寄付をいただいたことを報告し、会場の拍手を以って当会からの感謝の意を示した。また昨年度からの繰越金を活用し、従来と同様に懇親会費を低く

設定し、次年度も同程度の繰越金を維持することが出来たことを報告した。

2-3. 講演会

講演1「Sanyo Chemical × Life Science

“ワクワクする未来”への挑戦

三洋化成工業(株) バイオ・メディカル事業本部
本部長 大高 剛史 様



三洋化成工業にはチャレンジを促す仕組みが種々あり、中でも2016年頃から始まった新規事業創出プロセスについて詳しく紹介いただいた。これらの仕組みを利用して、外科用止血剤「Hydrofit」やシルクエラスチン事業などの数々のヒット技術を創出し、社会に貢献することができた。これらを実現するには、チャレンジを促す仕組みも大事だが、結局のところ圧倒的な熱量と行動力のある人が必要であり、そしてワクワクを具現化できるプレイヤー、さらには指導者として発展していくことが大高氏の理想であり、目指す姿であると締めくくられた。

講演2「泡の科学と工学 - 高分子中の

気泡核生成と成長の制御に費やした30年」

京大院 工学研究科 化学工学専攻
大嶋 正裕 教授



大嶋教授のこれまでの研究者活動の中から代表的な業績を紹介いただいた。工学部長として、桂/吉田図書館の開設/整備、Aクラスター中庭整備、基盤教育センターへの教授配置、総長選挙への出馬、etc. 研究者として、泡の科学と工学の詳細な体系化。特にギネスビールの神泡発生機構の解説には全聴衆が強い興味を持って聞き入り、その後のナノコンジット法などの技術などの理解を深めることができた。

講演3「京都大学と化学工学教室の近況」

京大院 工学研究科 化学工学専攻

佐野 紀彰 教授(専攻長)



京都大学と化学工学教室の近況についてご講演を頂いた。京大オープンキャンパスのハイブリッド開催、博士進学者支援制度、化学プロセス工学コース希望者の高水準継続(2010年～)、Chem-E-Car 活動、工場見学、化

学プロセス研究コンソ、etc. 化学工学専攻や京大全体が変化しながら発展していることを感じられる講演だった。

2-4. 洛窓会会長代行 ご挨拶

京都大学 国際高等教育院
副室長 長谷部 伸治 名誉教授/特定教授
急逝された田門会長の代行として、長谷部名誉教授から、講演者の皆様、参加各位、および運営関係者への謝意が述べられた。また、京都本会の日程の告知(10/21)と、東京支部への今後の期待のお言葉もいただいた。



3. (第二部) 懇親会

3-1. 挨拶、テーブル毎で自己紹介、乾杯

東京支部副支部長・(株)神戸製鋼所
副社長執行役員 森崎 計人 様
懇親会は、東京支部副支部長・(株)神戸製鋼所の森崎様のご挨拶と乾杯のご発声で開会した。今回も世代間交流促進を目的に懇親会の冒頭に自己紹介タイムを設け、指定のテーブル毎に自己紹介をして頂いた。



3-2. 宴

新型コロナが5類相当に分類されたことを受け、懇親会会場はコロナ前と同様の立食形式とした。



3-3. 次年度代表幹事ご挨拶



懇親会の終盤にて、次年度幹事会社・東洋エンジニアリング(株)の吉本様と石井様から来年度代表幹事を務めるに当たっての抱負が述べられ、次年度の総会への参加が呼びかけられた。

3-4. 中締め挨拶 洛窓会幹事長 河瀬元明 教授



続けて、中締めのご挨拶を河瀬教授(洛窓会幹事長)より頂いた。

3-5. 「琵琶湖周航の歌」合唱

最後に、琵琶湖就航の歌を全員で合唱して締めとした。



4. 総評

前年度に続き、対面とオンラインを併用した総会であった。年代を問わず、多くの方にご参加頂き、盛会の内に終えることができた。新型コロナが5類相当に分類されたことから、対面参加人数が増加したことは非常に嬉しい。

運営面では、化学工学教室には、洛窓会オンラインシステムの出欠確認への活用、大学の Zoom アカウントの使用等、多大なるご協力をいただいた。また支部幹事会社である住友化学と富士フィルムから多くの助言を得て、設営、案内、受付業務などの事前準備、進行を行った結果、無事に終えることができた。

5. 謝辞

ご多用の中大変示唆に富んだご講演をご準備いただいた大高様、大嶋教授、佐野教授に心よりお礼を申し上げます。また、対面とオンラインを併用した支部総会の開催にあたり、洛窓会本部の諸先生方、支部幹事会社代表の方々に多大なご助力・アドバイスを頂戴しました。心より御礼申し上げます。

以上